

事業シート(概要説明書)					
事業名	久米山ふれあいロッジ			担当部名	生涯学習部
				担当課名	生涯学習課
事業年度	開始年度:平成15年度		終了年度:なし		
総合計画での位置付け	人づくりと文化の振興 自己の能力を高められる体制づくり 生涯学習環境の整備 学習環境の充実				
根拠法令等	久米山ふれあいロッジ条例				
実施方法	直接実施	委託	指定管理	補助金	その他
	実施主体・委託先等		株式会社 ガット		
事業概要	目的・必要性 (何のために)	久米地域にある稼(すくも)山とその周辺の市所有の里山の自然と環境を活かして、市民に憩いとふれあいの場を提供し、都市や農村との交流活動を促進するため。			
	対象 (誰・何を対象に)	市民全般			
	事業内容 (手段、手法など)	施設の管理運営業務 施設の利用許可に関する業務他			

【支出】		H21決算	H22決算	H23決算	H24予算
事業費 (指定管理者)	人件費	5,552	5,929	6,059	6,180
	光熱費	1,380	1,407	1,403	1,505
	修繕・消耗品費等	484	131	131	255
	委託料(施設管理)				
	負担金・公租公課	195	220	322	340
	その他()	1,032	1,183	1,109	1,700
	小計	8,643	8,870	9,024	9,980
事業費 (津山市)	修繕・消耗品費等	119	192	212	200
	備品購入費	0	0	0	
	その他(役務費)	0	0	0	13
	小計	119	192	212	213
合計(千円)		8,762	9,062	9,236	10,193

事業費の 財源内訳	一般財源(指定管理料)	2,800	2,800	2,800	2,800
	“(修繕費)	119	192	212	213
	利用料金収入	4,177	3,934	4,029	4,100
	自主事業収入	795	1,574	1,676	1,800
	その他(自動販売機売上等)	41	43	42	40
	赤字分(指定管理持出)	830	519	477	1,240
	合計(千円)	8,762	9,062	9,236	10,193

従事者数	正規職員(人/年)				
	嘱託・臨時職員(人/年)				

事業シート(概要説明書)

	活動指標名	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
目的達成のための活動指標	宿泊利用者数	目標	-	-	2,350	2,290	2,500
		実績	1,657	2,171	2,269	2,229	-
	一時利用者数	目標	-	-	860	950	1,000
		実績	983	857	925	1,015	-
	利用者数合計		2,640	3,028	3,194	3,244	-
指標選択理由	宿泊者数及び一時利用者数など、施設への来館者数が指標として設定しやすいため。						
事業目的の達成状況	毎年、宿泊者と一時利用者の合計は増加しているが、利用者は、市外の方が中心である。						
現在の課題と今後の対応	<p>指定管理制度の導入により、宿泊者と一時利用者の合計は少しずつ増加し、施設の利用状況は、良好と考えられる。</p> <p>しかし、生涯学習施設としての設置目的に照らし合わせた場合、平成23年度では、商用やゴルフ利用者など約8割が市外の方となっており、久米地域及び津山市全体の地域振興に効果はあると考えられるものの、津山市民が生涯学習を推進する施設としては、設置目的に合っていない現状がある。</p> <p>また、年々、施設の維持管理に係る経費が多くなっているほか、将来的に修繕費などの経費も多くなることが予想される中で、市費負担の増額は大変厳しい状況である。</p> <p>そこで、生涯学習施設としての位置づけや使用目的を再検討し、民間等実施を検討することが必要である。</p>						
今後の方向性	<p>直営(拡大・充実) 直営(現行どおり) 直営(要改善) 民間等実施 廃止</p> <p>生涯学習の観点から行う事業展開よりも、ゴルフ場利用者や津山への出張で宿泊する利用者が多数を占めており、生涯学習施設としての位置づけは弱いと言える。</p> <p>しかし、その一方で、年間3,000人程度の利用者があり、久米地域及び津山市にとっての産業振興の役割も果たしている状況である。</p> <p>そこで、設置目的を、生涯学習施設から、利用実態に合わせて事業展開しやすい宿泊可能な施設への変更及び、宿泊施設に関するノウハウを持つ民間等の施設運営についても検討する。</p>						
特記事項 (事業の沿革等) (他都市との比較等)	<p>久米山ふれあいロッジは、久米カントリークラブの宿泊施設であったが、ゴルフ場の経営見直しに伴い旧久米町へ譲渡された。それを職員研修や青少年の健全育成等を目的とした宿泊可能な研修施設として整備改修を行い、平成15年から供用を開始した。</p> <p>その後、平成17年に久米町と津山市が合併し、津山市所有の施設となったが、平成21年度からは指定管理者制度を導入し、管理運営を民間業者へ委託し現在に至っている。</p> <p>(沿革) S55.6.30 新築 H13.9.25 久米カントリークラブより寄付(久米町総務課所管、研修施設として整備改修) H15年 オープン H17年 津山市と久米町合併 H21年 指定管理者制度導入 鉄骨ALC造 693.14㎡ (ALCとは、外壁や床板などに軽量気泡コンクリートの建材を使用したもの)</p>						